

令和4年度白河市行政改革推進委員会 第4回委員会会議録（要旨）

日時	令和5年2月22日（水）15時00分～17時00分
場所	白河市役所 301会議室
出席者	委員6名（1名欠席） 小林知二委員長、徳田芳江委員、十文字由紀子委員、鈴木富幸委員、和知玲子委員、金内貴弘委員
事務局等	4名（総務課長欠席） 副市長（市長代理）、井上総務部長、邊見係長、大橋主事
<p>1 開 会</p> <p>2 委員長挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p>（1）白河市第2次行政経営改革プラン（案）及び答申について</p> <p><b>【事務局より説明】</b></p> <p>◆行政改革推進委員会から市長への答申</p> <p>① 答 申</p> <p>② 市長挨拶</p> <p><b>【協議】</b></p> <p>（委 員）行動計画とは何か。</p> <p>（事務局）今までの総合計画に代わり、市政運営の方針となる最上位の計画として、行動計画という名称で、現在策定を進めている。</p> <p>（委 員）聞きなじみのない名称で、市民には分かりにくいのではないか。</p> <p>（事務局）行動計画の名称については、担当部署で最終的に決定するため、御意見として承り、今回の行政改革の新プランには、注釈などで補足するようにする。</p> <p>（委 員）情報発信・広聴手段の充実に関する改善すべき課題として、市民ニーズを把握し、適切なサービス提供につなげていくことは重要。</p>	

(事務局) そのとおり。いかに市民のニーズをつかんでいくか課題である。現在においても、市長への手紙やホームページなどを通じて意見をいただいております、引き続き対応していく。

(委員) 市役所へ意見を言うことが、ハードルが高いように思う。スーパーなどであるような気軽に意見を言える目安箱があればよい。

(委員) 市民の意見を取りまとめているのはどの部署なのか。

(事務局) 秘書広報課であり、内容によって担当課につないでいる。匿名性を担保した方法で意見を言えるような仕組みになっている。

(委員) 匿名性を担保する必要があるか。個人的にはないと考えている。市民は身元をはっきりさせ、意見を言うべきだと思う。

(事務局) 秘書広報課や生活防災課などの関係する部署に、意見を共有させていただく。

(2) 白河市行政経営改革プランについて

**【事務局より説明】**

**【協議】**

(委員) 経営コストの削減についてだが、特に、電気代が高騰し続けている。市役所でも削減は難しいのではないか。

(委員) 以前、選挙の立会人をした際に、とても寒い思いをした。寒い中で仕事をするのは、職員の健康にも良くない。働く職員が過ごしやすいうよう改善してほしい。

(委員) 暖房費や残業代など、必要なところには、お金をかけるべき。コストカットが全てではない。

(委員) 残業は、コロナ対応によるものが多いのか。

(事務局) コロナ対応で給付金支給やワクチン接種を担当している部署だけでなく、コロナ明けの影響で、イベントが増えていることも要因である。

(委員) 休日に勤務をした場合、民間だとフレックス制度がある。市役所の勤務態勢はどうなっているのか。

(事務局) 休日出勤をした場合は、基本的には代休で対応し、時間にもよるが、一部の時間は超過勤務手当になる場合もある。また、テレワーク制度があり、業務によっては自宅でも仕事ができる仕組みになっている。

(委員) 市が行っている事業の周知が少ないように感じる。もっと周知してほしい。

(事務局) 町内会を通じて、毎月広報紙やイベントのチラシなどを配布しているが、町内会に加入していない世帯が増えている。今年度から、ホームページに電子回覧板のページを作成し、いつでもどこでも見られる仕組みを導入した。また、高齢者でもLINEを利用している方は多く、市の公式LINEをさらに活用し、周知につなげていきたい。

(3) その他

【事務局より説明】

- ・委員の任期について
- ・次年度のスケジュールについて

4 閉 会